

オオクワガタの棲める森づくり

箕面市立豊川北小学校が森林で体験学習！

「森の探検隊」で体験学習

平成27年10月29日、NPO法人みのお山麓保全委員会と連携し、箕面国有林内「エキスポ'90 みのお記念の森」及び箕面ビジターセンターにおいて、箕面市立豊川北小学校4年生児童65人を対象に森林環境教育を行いました。

秋の紅葉シーズンの最中、晴天にも恵まれ、児童たちは午前中「エキスポ'90 みのお記念の森」で「森の探検隊」を体験し、午後は大阪府の箕面ビジターセンターで、箕面に生息・生育する動物・植物等展施設の見学、森の自然工作などを行いました。

「森の探検隊」は、学習ポイントを班単位で歩き、与えられた指令書及びヒントにより自分たちで回答を導き出す森林環境学習プログラムです。

児童たちの引率者として、大阪森林インストラクターの会員、森林管理局の職員、大阪府北部農と緑の総合事務所職員が受け持ちました。



開会の様子



指令書を読んで探検する児童たち

児童たちは、設定された学習ポイントの中から、予め各班で決めたポイントを巡り、指令書・ヒント及び引率者のアドバイスも参考にしながら班のみんなで考え、探検ノートに観察したこと・回答などを書き込み、デジカメで撮影しながら楽しく廻って行きました。

探検では、臭いを嗅いだり、木の幹周りを測ったり、脚立に登ってクヌギの中をの

ぞいたり、葉っぱでお面を作ったりといろいろな体験をすることが出来、普段あまり森林と接することが少ない児童たちにとっては貴重な体験学習となりました。

箕面ビジターセンターで箕面の生き物等を学ぶ

午後からは場所を箕面ビジターセンターに移し、NPO法人みのお山麓保全委員会が、施設見学、水辺の生き物調査、森の自然工作の指導を行いました。

また、森林管理局職員の指導によりフォトフレーム作りも実施し、児童たちは盛りだくさんのメニューをこなしました。



箕面ビジターセンターの展示物を見学→

水辺の生き物調査では、箕面川の水生生物のヨコエビ、カワゲラ（幼虫）などを実際に観察することが出来ました。

自然工作、フォトフレーム作りでは、木の枝や実などをふんだんに使い、思い思いの作品を制作しました。

午後は、4つメニューを30分刻みで順次消化していったため、慌ただしくなりましたが、殆どの児童たちがこの場所を訪れたのが初めてということもあり、貴重な体験となったようです。

この後、豊川北小学校では、「森の探検隊」の学習結果発表会を予定しています。各班が探検ポイントで考えたことや学んだこと、調べたことを発表してもらえると楽しみです。



（写真上）水辺の生き物に直接触れながら調査

（写真下）木の実等を使って自然工作